



しゃくなげ

令和2年

5月特別号

5月2日配信

シアトル日本語補習学校

学習支援の開始にあたって

校長 柏 隆

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という未曾有の事態の影響で、本校も3月の2回の授業日から6月の集中授業日までの休校を余儀なくされました。この間、卒業式を延期、始業式・入学式も中止とせざるを得ませんでした。特に、3月の卒業式、4月の入学式を心待ちにされていた皆様のお気持ちを思う時、極めて残念でなりません。学校としての火急の対応を迫られましたが、何よりも子どもたちの健康・安全を最優先に考えた上でのやむをえない措置として、ご理解いただきましたことに、改めて感謝いたします。

また、休校中の本校の対応につきましては、お子様の学習についてのご心配やご不安に対し、情報の少なさや発信の遅滞など、配慮が行き届かず、充分にお応えできなかったこと、誠に申し訳なく思っております。今後は、できる限りの情報発信とお子様の学習支援に鋭意努力いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、5月2日からは、お子様に対し、毎週土曜日に学習支援を行います。本校では、休校中のお子様への学習支援のねらいを、①日本語で学ぶ機会を継続すること。②子ども（保護者）とつながり、心のサポートをすること。③年間学習指導計画に基づく指導内容の補充をすること、として準備してまいりました。

各学年・教科の支援内容は別記の通りです。具体的な学習や支援の内容は、追って、各学年・教科からご案内申し上げますが、基本的に全ての学年で、メール配信（動画・画像・パワーポイント等を含む）による課題（宿題・ビデオメッセージ・範読等）の提示と家庭からの返信、という通信方式となります。

ライブによるオンライン授業の実施も検討してまいりましたが、兄弟関係や時間割・家庭内のデバイス数・通信速度などの課題に加えて、教職員個々のICT機器の知識や技能の差、教職員や家庭のIT環境整備の違いなどを勘案し、現時点では、全ての学年での実施は行いません。しかしながら、今後、休校が延期されたり繰り返されたりする場合も想

定し、さらなる学習支援の方法として、オンライン授業導入の可能性を探りたいと考えます。そこで、まずは、生徒の発達段階や指導者及び生徒のICT機器の習熟度等を考慮し、中学部3年数学と高等学部2年国語の2教科のみ実施することとしました。今後、中・高等学部を主に、他教科での実施も検討してまいります。

上述しましたように、現段階では、学年・教科によって支援内容に差が生じますことをご理解いただき、お許しいただきたいと存じます。

3月以来、教職員は、対面での会議・打ち合わせもままならない状況で、これまでと異なった環境での学習支援の方法を考え、準備してまいりました。保護者の皆様にはご理解いただいていることとは思いますが、本校の教職員は、日本国内や現地校の教員とは異なり、平日は他の仕事に従事していたり、保護者という立場で授業をしていたりと、それぞれの事情がある中で、時間を割いて教材研究や教材準備を行い、土曜日の授業に臨んでいます。今回の休校中の学習支援についても、日米の輸送の遅滞により、手元に教科書や副教材がない中で、これまで以上に教材研究や準備に時間を費やし、子どもたちのためにできることを考え、準備してまいりました。学習支援については、今後も皆様から様々なご意見やご要望があろうかと存じますが、どうか、教職員の努力をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

手探りの状態でのスタートとなり、お子様や保護者の皆様には、ご不便やご心配をおかけすることと存じます。また、今後、日々刻々と変化する状況下では、先にお伝えした決定事項も覆ることもあります。保護者の皆様には、どうぞ、これまで同様、ご理解とご協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

明るく元気な子どもたちの声が、本校に戻ってくる日のために、私たち教職員も、前向きな気持ちで準備してまいります。

ご家庭におかれましても、先行きの見えない状況に辛くご苦勞の多いことと拝察いたしますが、来るべき始業日に向けて、お子様の健康管理、そして学習支援をお願いいたします。